**研究開発/実証テーマ提案書**

様式2-①

* 本提案書は文字サイズ10pt以上、A4用紙10枚程度、10MB以下を目安としてください。
* 補足説明資料（A4用紙10枚程度、10MB以下を目安）の添付が可能です。
* ご提出の際はWORD及びPDF形式とし双方を送付してください。
* 本提案書は、提案者の同意なしに公開されることはありません（本公募の目的においては守秘義務を課したうえで委託業者や選考委員等に提供・開示いたします）。
* 青字で記載している文書は本提案書作成上の注意事項です。提出時には削除してください。

**１．提案者情報**

|  |
| --- |
| （１）研究開発/実証テーマ提案者 |
| 代表提案者の所属機関（１機関） |  |
| 代表提案者 | （代表提案機関所属の個人） |
| 委託先機関 |  |
| （２）研究開発/実証テーマ提案担当者（１名）　※必須　（本提案に係る連絡先として登録します） |
| 氏名 |  | ふりがな |  |
| 所属機関 |  |
| 所属部署 |  | 役職 |  |
| 電話 |  | メール |  |
| 住所 |  |
| （３）提案者の体制 |
| 提案者の体制及び企業の概要を簡潔に記載してください。大学等・公的研究機関以外の企業等については、その事業概要を「企業概要（様式自由）」として提出してください。 |

**２．研究開発/実証テーマ提案概要**

|  |  |
| --- | --- |
| （１）応募カテゴリ | （Ⅰ）部品・機器・ツール/手法　（Ⅱ）衛星システム上記より該当するカテゴリを記載してください。 |
| （２）応募フェーズ | 下記より該当するフェーズを記載してください。（Ⅰ）FSフェーズ　（Ⅱ）FMフェーズ |
| （３）課題スコープ | 公募要領の資料1を参照の上、提案する課題スコープを記載してください。 |
| （４）研究開発/実証テーマの名称 |
| （日本語）40字以内で記載してください（例：革新的衛星技術の軌道上実証）（英語） 15words以内で記載してください（例：On-orbit Demonstration of Innovative Satellite Technology） |
| （５）研究開発/実証テーマ機器名称／衛星名称 **（本提案が採択された場合、英語正式名称を除き公開される予定です。）** |
| （テーマ機器名称／衛星名称） 20字以内で記載してください（例：小型実証衛星５号機）（略称） ローマ字15字以内で記載してください（例：RAISE-5）（英語正式名称【参考】） 略称を設定する際の英語正式名称を記載してください （例：RApid Innovative payload demonstration SatellitE-4） |
| （６）提案テーマ要旨**（本提案が採択された場合、本内容を公開することがありますので、秘密情報を含まないように留意してください）** |
| 箇条書き等は使用せず、文章として100字程度（70～130字目処）で記載してください。 |
| 様式3：提案サマリの「概要」と同内容を記載してください。 |

**３．研究開発/実証テーマ詳細**

|  |
| --- |
| （１）研究開発/実証内容　（3ページ程度） |
| 1. 本提案において解決すべき具体的な課題、課題スコープへの対応と総括的な目標

② 提案者のこれまでの研究開発状況、実績、特許等の出願・取得状況③ ミッションや技術の世界的に見た意義・価値、セールスポイント　③－１：先行・競合するミッションや技術とその研究状況、関連する他者の文献や特許等、市場動向など　③－２：③－１に対する独創性、優位性国内外のベンチマーク等の観点を含め記載してください。④ （軌道上での実証を行う場合）軌道上での実証内容⑤ 本ミッションによる研究成果(Output)⑥ 達成目標具体的なサクセスクライテリアを設定できる場合は、サクセスクライテリアを記載してください。⑦ 研究成果のJAXA研究開発/プロジェクトへの活用　(Outcome)⑧ 研究成果の民間事業への活用（Outcome）活用が期待される民間事業の次の点について記載してください。* 事業化を目指す製品、サービス等の具体的な内容
* 事業モデル
* 市場分析
* 類似製品・サービス及びそれとの比較、優位性
* 想定顧客
* 事業目標値
* 事業化まで及び事業化後のロードマップ、マイルストーン（コスト・保守性等を含む）と想定される時期
* 事業実施体制（連携が想定される企業、業種）
1. 共同研究による研究開発の利点、効果等

共同研究を行うにあたり、それぞれが持ちよる強みと、それぞれの共創の意義を明確に記載してください。1. その他の社会的波及効果（人材育成 等）
 |

|  |
| --- |
| （２）研究開発/実証計画　（2ページ程度） |
| ① 質量・サイズ・機器/衛星概要* 質量を記載してください。単位：[kg]
* サイズ（包絡域）を縦×横×高さで記載してください。単位[mm]カテゴリ（Ⅰ）に応募される場合で複数機器を組み合わせての実証を検討されている場合は、それぞれの機器のサイズを記載してください。
* サービスやツール/手法の実証で、物を製造しない場合は、「N/A」としてください。
1. 希望軌道

希望する軌道（高度、軌道傾斜角など）があれば記載してください。③ インターフェース条件カテゴリ（Ⅰ）部品・機器・ツール/手法：* 通信IF（RS422, LVDSなど）
* 電源IF（一次電圧（3.3V, 5V, 28Vなど）及び最大電流）
* 消費電力（最大及び1周回あたりの平均電力）
* 通信容量（Mbps, MB/週など）
* 特記事項（RF放射、展開機構、推進系の有無など）
* その他バスシステムへの要求（姿勢精度要求、EMC要求など）

【注意事項】* 衛星システムからはコマンド送信による制御を基本としておりますので、コマンド制御以外の制御（推進系のバルブ操作やスイッチング制御等）が必要な場合は実証機器側で制御器（コントローラ／ドライバ）を準備いただきますようお願いいたします。
* ホステッドペイロードサービスの選定にあたり、提案いただいたインターフェース条件の一部を調整により変更いただく場合があります。

カテゴリ（Ⅱ）衛星システム：* ロケット分離機構（例：Lightband 8inch型/E-SSODに適合など）
* 衛星-地上局間コマンド/テレメトリ仕様
* 特記事項（展開機構、推進系の有無など）

④　安全設計方針安全設計の方針を記載してください。参考：JMR-001 システム安全標準　http://sma.jaxa.jp/TechDoc/Docs/JAXA-JMR-001B\_N1.pdf⑤　射場で必要とする作業の有無とその内容推薬補充、火工品取付、推薬モニタ、バッテリ充電、電気点検、推進系点検、保管環境、その他射場作業に関する要求事項を記載してください。⑥ 本ミッションを達成するまでの全体スケジュール製作するモデル（例：EM/PFM方式等）、それぞれ行う試験の種類を記載してください。様式自由、別添での提出でも構いません。⑦　地上システム整備計画独自の通信を行わない場合、記載は不要です。⑧　周波数調整計画・無線局免許取得計画通信や能動センサで電波を利用する場合は、公募要領の資料5を確認の上、記載してください。（周波数調整及び無線局免許取得の手続を行う体制）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 御所属・御氏名 | 周波数調整 | 無線局免許取得 | 無線従事者免許 |
| 主担当者 |  | □経験有□経験者支援有※1□外注予定有　※2 | □経験有□経験者支援有※1□外注予定有　※2 | □取得済□取得予定有 |
| 副担当者 |  | □経験有□経験者支援有※1□外注予定有　※2 | □経験有□経験者支援有※1□外注予定有　※2 | □取得済□取得予定有 |

※1 担当者が経験無しの場合でも、経験者の支援が得られる場合はチェックしてください。※2 「共同研究契約においてJAXA プログラム事務局が負担できる研究費の費目及び概要」(第4章)を参照の上、周波数調整・無線局免許取得について外注予定がある場合はチェックしてください。（周波数調整及び無線局免許取得の手続を行うスケジュール）スケジュールを記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| アップリンク／ダウンリンクの別 | 周波数帯 | 免許人 | 各手続の実施時期・期間 ※1 |
| 宇宙機関間周波数調整手続 | 周波数調整手続 | 無線局免許手続 |
|  |  |  | Ｘ年Ｘ月～Ｘ年Ｘ月 | Ｘ年Ｘ月～Ｘ年Ｘ月 | Ｘ年Ｘ月～Ｘ年Ｘ月 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

※1 既に総務省等への相談等の調整を進めている場合は、その時期を記載してください。（宇宙実証で使用する無線通信システムの概要・系統図）* 衛星-地上間通信帯域 {Hz}⇒衛星－地上間のコマンド/テレメトリ通信で使用する周波数の範囲
* 衛星-地上間通信レート[bps]
* 衛星-地上間通信変調方式

・系統図を記載ください。⑨　宇宙活動法申請計画カテゴリ（Ⅰ）の場合、記載は不要です。⑩ 実証テーマのTRL、TRLの判断根拠参考：BDB-06005A JAXA技術成熟度(TRL)運用ガイドライン<https://ssl.tksc.jaxa.jp/isasse01/kanren/BDB/BDB06005A.pdf>⑪ 過去の衛星システム/コンポーネントの開発実績、反映・改善事項1. リスクの識別とそれに対する評価

実証テーマの開発・運用にあたって、予測される主要なリスクを識別して、その発生確率及びミッション達成に関する影響度、対策を記載してください。 |

|  |
| --- |
| （３）共同研究計画　（3ページ程度） |
| 1. 研究実施体制

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 所属機関 | 代表者氏名 | エフォート※2 | 役割 | 事業主体※1 |
| 代表提案者 | ○○大学/JAXA○○部門/企業 |  |  |  |  |
| 共同提案者 | ○○大学/JAXA○○部門/企業 |  |  |  |  |
| 再委託先1 | 株式会社△△ |  | － |  | 〇 |
| 再委託先2 | ■■大学 |  | － |  |  |

※1　研究成果の事業化にあたり、事業主体となる企業（団体等含む）に○をつけてください※2 「代表提案者」及び「共同提案者」の「エフォート」欄には、当該機関内において代表者を含め本提案テーマに関与する人員のエフォート（○○人月）の計画を記載ください。1. 研究期間／研究費額

<総額>

|  |  |
| --- | --- |
| 研究期間 | ヶ月 |
| 研究費　年度内訳 |
| 年度※1 | 本プログラム提供希望額※2 | 代表提案者自己投資想定額※3 | 共同研究者自己投資想定額※3 |
| 年度 | 　 | 千円 | 　 | 千円 | 　 | 千円 |
| 年度 | 　 | 千円 | 　 | 千円 | 　 | 千円 |
| 合計額 | 　 | 千円 | 　 | 千円 | 　 | 千円 |

※1　FSフェーズの契約期間は1年程度、FMフェーズは2年程度となります。（以降同様）※2　本プログラムから提供する研究費は公募要領2.2研究開発のカテゴリに定める予算規模とし、一般管理費（直接経費の10%を上限）及び消費税（10%）を含む額とします。※3ご提案の研究に対して本プログラム提供研究費以外に提案者が自ら投資、提供する見込みの資金等について「自己投資想定額」として記載ください。（例示は公募要領：資料4を参照下さい。）<総額の内訳> 本プログラム提供額の配分について、提案者、再委託先に分けて記載ください。　(a) 提案者

|  |
| --- |
| 提案者：○○大学/JAXA〇〇部/株式会社○○ |
| 年度 | 金額※ | 主な使途 |
| 年度 |  | 千円 |  |
|  年度 |  | 千円 |  |
| 合計額 |  | 千円 |  |

※金額には一般管理費（直接経費の10%を上限）及び消費税（10%）を含めて下さい。 (b) 再委託先

|  |
| --- |
| 再委託先1：株式会社△△ |
| 年度 | 金額※ |  |
| 年度 |  | 千円 |  |
| 年度 |  | 千円 |  |
| 合計額 |  | 千円 |  |

※金額には一般管理費（直接経費の10%を上限）及び消費税（10%）を含めて下さい。

|  |
| --- |
| 再委託先2：■■大学 |
| 年度 | 金額※ |  |
| 年度 |  | 千円 |  |
| 年度 |  | 千円 |  |
| 合計額 |  | 千円 |  |

※金額には一般管理費（直接経費の10%を上限）及び消費税（10%）を含めて下さい。1. 実施項目・分担

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施項目 | 代表提案者 | 共同提案者 | △△再委託先 | ■■再委託先 |
| 1.・・・・・・・ | ○ |  |  |  |
| 2.・・・・・・・ | ○ |  | ○ | ○ |
| 3.・・・・・・・ |  | 〇 |  |  |
| 4.・・・・・・・ |  |  | ○ | ○ |

1. 研究実施内容

※　③に記載の実施項目ごとに、研究内容の概要と達成目標（具体的数値が望ましい）をご記入ください。　　実施項目1.・・・・・・・　達成目標1.例）□□における▲▲の最適条件を明らかにする●●の××を■％向上　　　　　　　　○○○の仕様を決定　実施内容1.・・・・・・・　　実施項目2.・・・・・・・　　達成目標2.・・・・・・・　実施内容2.・・・・・・・　　実施項目3.・・・・・・・　　達成目標3.・・・・・・・　　実施内容3.・・・・・・・　　実施項目4.・・・・・・・　　達成目標4.・・・・・・・　実施内容4.・・・・・・・ |

|  |
| --- |
| （４）知財ポリシー |
| ※1事業に使用することが見込まれる確保済みの特許、意匠、著作権、技術情報等の知的財産（既存知財）と上記研究で獲得が期待される知的財産（新規知財）を識別して記載してください。※2 新規知財が、再委託先との共同研究等により共有となることが見込まれる場合、その取扱い方針を記載してください。※3 共有となることが見込まれる新規知財の取扱いが、本件事業化の妨げにならない場合はその理由、妨げになり得る場合は当該リスクの低減方法を記載してください。※4 既存知財に第三者との共有知財が含まれる場合は、※3同様に本件事業化の妨げにならない場合はその理由、妨げになり得る場合は当該リスクの低減方法を記載してください。 |
| （５） 非居住者又はみなし輸出に該当しうる居住者の該当者有無(輸出管理) |
| みなし輸出については、経済産業省HPをご確認ください。* + 該当者有り　　　　　　□　該当者無し
 |
| （６）共同研究契約書ひな形の内容を契約担当部署や法務担当を含め確認 |
| ホームページに添付している共同研究契約書ひな形を必ずご確認ください。□確認済み |
| （７）外部資金獲得・申請状況 |
| 1. 過去に外部資金等を受けて研究実施したことがある場合、その結果（計画未達等の要因分析を含む）

②　他の研究資金への申請を行っている、またはその予定がある場合、申請先・研究資金名称・機関・金額等 |

**４．その他**

|  |
| --- |
| （１）特記事項　 |
| ２.～３.に当てはまらない事項や特筆すべき事項などがあれば記載してください。 |
| （２）本プログラムへの要望、その他 |
| 本提案研究を実施するうえで本プログラムへの要望やその他事項があれば記入してください。　要望例：JAXAが保有する試験設備の利用希望、宇宙環境に関わる情報提供の希望　など |

**応募資格自己申告**

|  |
| --- |
| **提案者** |
| **代表提案者の所属機関****氏名** |  |

|  |  |
| --- | --- |
| **要件** | **いずれかに****(文字は消去しないこと)** |
| 1. **日本の法律に基づく法人格を有している民間企業、大学、国立研究開発法人等であること。**
 | **あてはまる ／　あてはまらない** |
| 1. **破産手続開始、民事再生手続開始、会社更生手続開始若しくは特別清算開始その他これに類する法的倒産手続又は私的整理手続（外国法に基づくものを含む。）開始の申立てはなされておらず、租税公課について滞納処分又は保全差押を受けておらず、手形若しくは小切手の不渡り・支払停止又は手形交換所の取引停止処分を受けておらず、その他信用状態の著しい悪化を生じていないこと。**
 | **あてはまらない ／ あてはまる** |
| 1. **反社会的勢力ではなく、反社会的行為に従事しておらず、反社会的勢力との間に過去・現在又は直接・間接を問わず、取引、金銭の支払い、便宜の供与その他一切の関係又は交流はないこと。また、反社会的勢力に属する者又は反社会的勢力との交流を持っている者が役員として選任され若しくは従業員として雇用されておらず、又は経営に実質的に関与していないこと。**
 | **あてはまらない ／ あてはまる** |
| 1. **法令等及び技術実証契約の規定に従い、技術実証契約を適切に履行するために必要な技術的能力及び経済的能力を有すること。**
 | **有する ／ 有しない** |
| 1. **実証テーマが第三者の知的財産権を侵害していないこと。**
 | **していない ／ している** |
| 1. **JAXAによる競争参加資格の停止措置または随意契約の停止措置を受けていない者。**
 | **受けていない ／ 受けている** |
| 1. **他の公的研究開発支援制度（例：宇宙戦略基金事業、SBIR事業等）において、他の資金との併用が認められていない予算の交付を受けている場合には、当該制度の規定を遵守し、本プログラムにおける活動において当該予算を充当しない提案・計画であることを、研究提案代表者が確認すること。**
 | **確認した ／ 確認していない** |
| **(8） その他、不適切と判断しうる事情がない者。** | **ない ／ ある** |